

コード	403040101
記入日:	H22.5.20

## 事務事業途中評価表

課コード	108
課名	まちづくり推進課
課長名	近藤 恭明
担当者	坂下幸喜

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	国民宿舎管理運営費
----------	-----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け			
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	7		
施策コード	403	施策名称	商工業の振興	項コード	1		
基本事業コード	40304	基本事業名称	観光商業の振興	目コード	1		
事務事業コード	4030401	事務事業名称	振興公社費	細目コード	139		
関連計画			法令・条例規則等	新上五島町国民宿舎条例及び施行規則			

**計画(PLAN)** ※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標					
(対象1)	利用者	(対象指標1)	4,809人(21実績)				
(対象2)		(対象指標2)					
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
*****	・指定管理制度を用いて、国民宿舎の管理運営を(財)新上五島町振興公社に委託している。指定管理料 23,827千円 営業収入額 74,906千円	*****	*****	*****	開館日数÷開館予定日数	*****	
		①	開館日数	365日	100%		平成21年度
		(達成率分析)	計画どおり無休で営業した。				
		*****	*****	*****	保守点検回数÷保守点検予定回数	*****	
②	保守点検回数	2回	100%		平成21年度		
(達成率分析)	計画どおり実施した。						
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)					
国民宿舎しんうおのめ温泉荘は、本町の団体観光客を受け入れる中核的な宿泊施設として位置付けている、この施設を管理運営することで、観光客の増加や本町観光産業の振興を図ることを目的としている。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
		*****	*****	*****	年間宿泊客数4,809人÷(営業収入+指定管理料)相当分年間宿泊客数	*****	
		①	年間宿泊客数	4,809人	15.6%		平成21年度
		(達成率分析)	年間宿泊定員数30,744人に対し、年間宿泊者は4,809人であった。施設の不備等により、前年度よりも宿泊客数が減少した。				
*****	*****	*****	営業収入額74,906千円+指定管理料23,827千円	*****			
②	営業収入額	74,906千円	314.3%		平成21年度		
(達成率分析)	営業収入74,906千円に対し、指定管理料が23,827千円かかっており、結果51,079千円営業収益が上回ったかたちとなっている。						

**実施(DO)** ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 日	1096	1096	731	365	365					
	②										
成果指標	① 人	71,853	30,806	25,997	30,744	4,809					
	② 千円	229,235	229,235	154,329	74,906	74,906					
総事業費C(A+B)	千円	384,193	384,193	359,666	24,527	24,527					
直接事業費A	千円	380,693	380,693	356,866	23,827	23,827					
人件費B	千円	3,500	3,500	2,800	700	700					
内訳	従事職員数	人	0.5	0.4	0.1	0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	384,193	384,193	359,666	24,527	24,527					

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由 新上五島町の中核的な宿泊施設として、団体旅行の誘致には欠かせない。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由 上五島の観光資源としてのポテンシャルは未だ発展途上だと言える。様々な誘致活動により国民宿舎に対するニーズはより重要になる。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由 町全体が不況にあえぐ今、観光など新たな産業の発展を推し進めていかなければならない。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由 施設の老朽化や、構造の古さにより、宿泊客が減少している。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由 団体旅行客の多くが高齢者である。部屋にトイレが無い、階段が辛いなどの問題がクリアできれば、宿泊客は増加するものと思われる。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由 この施設が無ければツアー客は激減し、廃止した場合の北魚目地区に与える影響は多大のものがある。
	類似事業との整理統合はできませんか。	できる ●できない	理由 類似事業無し
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由 サービスの質を落とすことはできない。
	人件費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由 最小の人員で行っており削減できない。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由 条例に沿っており、適正である。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	平成22年度に取り壊し、その後公設民営で実施していく計画である。
		有効性	平成23年度に取り壊し、その後公設民営で実施していく計画である。
		効率性	平成22年度に取り壊し、その後公設民営で実施していく計画である。
		課題に向けた改善策	平成22年度に取り壊し、その後公設民営で実施していく計画である。それにより、収益・サービスの向上が図られ、利用客の増が期待される。
	2次評価	妥当性	町の観光振興関連施策の進展にも必要な事業である。
		有効性	建て替え後の施設運営で本町への新たな観光宣伝、誘客が期待できる。
		効率性	1次評価のとおり

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
			事業費を見直して事業を継続					事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。